

シリーズ「職場での新型コロナウイルス感染症対策」

(その15) ワクチン接種後の発熱

●ワクチン接種後は発熱することがよくあります。

●ワクチンの副反応としての発熱であれば、1~2日で^{げねっ}解熱することがほとんどです。

解熱鎮痛剤を飲んで安静にして、仕事は休むことをお勧めします。

★常用薬がある場合、妊活中・妊娠中・授乳中、薬でアレルギー症状や喘息を起こしたことがある場合は、かかりつけ医や身近な医師に、解熱鎮痛剤について相談をするとよいでしょう。

★普段から頭痛や月経痛で市販の解熱鎮痛剤を飲んでいれば、それを飲むとよいでしょう。

★普段あまり解熱鎮痛剤を飲まない場合は、市販薬のうち比較的安全なアセトアミノフェンを購入することをお勧めしたいところですが、今は品薄のようです。

イブプロフェンやロキソプロフェンでもよいと、厚労省のサイト「新型コロナワクチン Q&A」にも書かれていますが、使用上の注意をよく読んで下さい。

★副反応の発熱が心配だからといって予防的に解熱鎮痛剤を飲むことは、勧められていません。熱が出てから飲むようにしましょう。

●3日たっても熱がさがらない場合は、副反応ではなく、新型コロナウイルス感染の症状なのかもしれません。

かかりつけ医や

<https://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/covid19/soudan/iryokikan.html>

に電話相談しましょう。

●ワクチンの副反応には、

咳・のどの痛み・息切れ・味覚異常・嗅覚異常・鼻水はありません。

これらの症状が出たら、新型コロナウイルス感染を想定して、

かかりつけ医や

<https://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/covid19/soudan/iryokikan.html>

に電話相談することをお勧めします。

